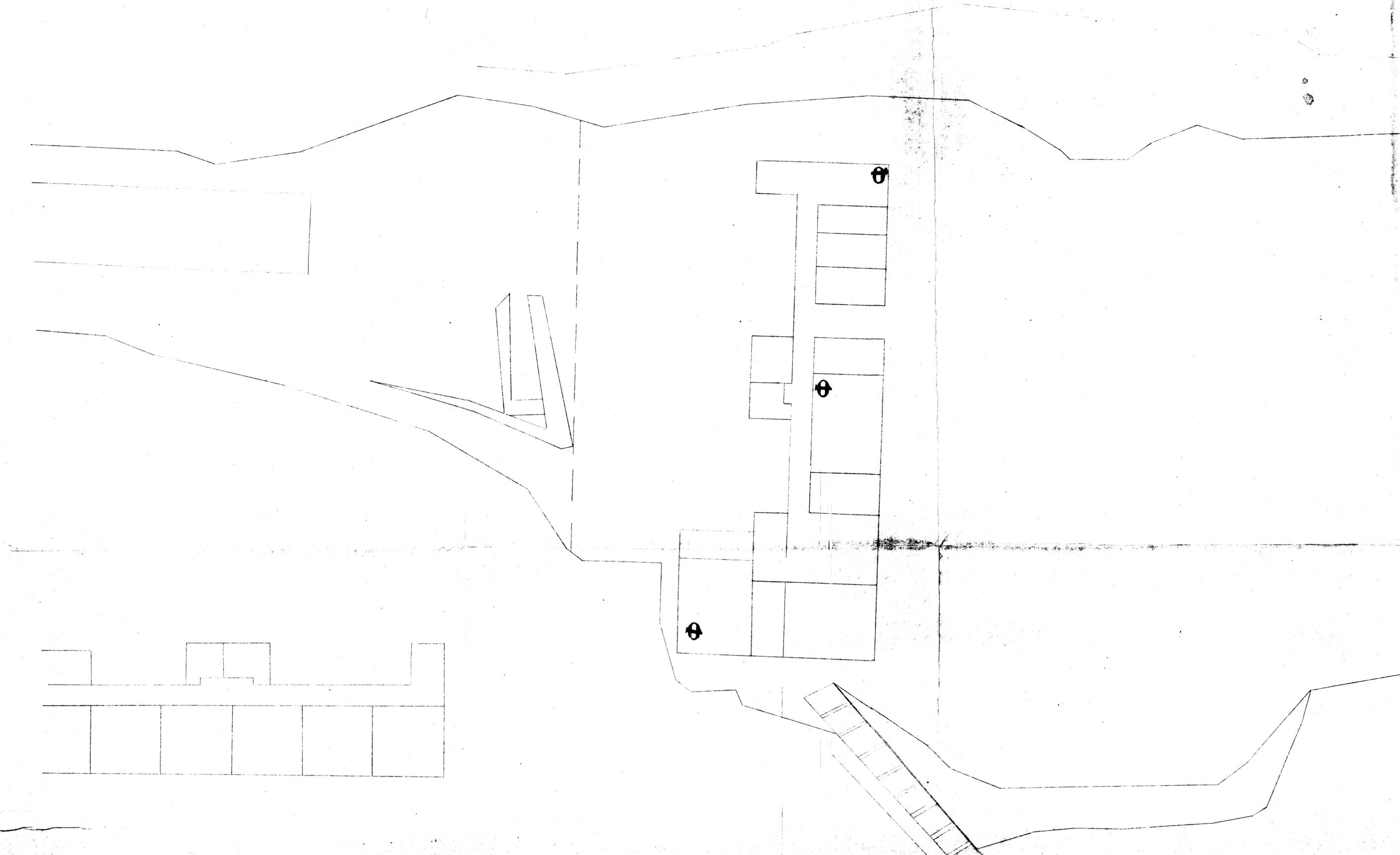


調査位置図

縮尺 1:300

ボーリング位置 ..... ⊕



鶴川中学校敷地調査委託 地質柱状図 (NO. 1)

調査地点 町田市大蔵町 1852  
 調査年月日 昭和41年10月21日～10月24日

標高 \_\_\_\_\_  
 孔内水位 \_\_\_\_\_

標高 m	層厚 m	柱状 図	色調	地質名	観察	相対 密度	相対 稠度	標準貫入試験					採取 方法	採取 深度 m						
								深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数					N 値					
										10	20	30	0	10	20	30	40	50		
1.15			茶褐色	ローム	落石火山区、スコリヤ 多量に含む			5	2	2	1									
1.45									30	10	10	10								
2.15																				
2.45									30	10	10	10								
3.15																				
3.45									30	10	10	10								
4.15																				
4.45	4.50	4.50							30	10	10	10								
5.15					礫母含む															
5.45									30	10	10	10								
6.15					所々凝灰質粘土 も															
6.45									30	10	10	10								
7.15																				
7.45									30	10	10	10								
8.15																				
8.45									30	10	10	10								
9.15																				
9.45									30	10	10	10								
10.15					凝灰質砂															
10.45									30	10	10	10								
11.15																				
11.45									30	10	10	10								
12.15																				
12.45									30	10	10	10								
13.15																				
13.45									30	10	10	10								
14.15																				
14.45									30	10	10	10								
15.15	15.00	10.50			シルト質砂															
15.45	15.45	0.45							30	10	10	10								
16.45																				

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

$\frac{3.20}{45}$  3.20-3.70 は試料採取深度 (m)  
 $\frac{45}{3.70}$  45/50 は回収比 (50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)

3. 標準貫入試験の項で 10 cm 毎の打撃回数とは最初の 10 cm 貫入に要した打撃回数, 10cm-20cmの間で要した打撃回数, 20cm-30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

鶴川中学校敷地地質調査委託 地質柱状図 (NO. 2)

調査地点 町田市大蔵町 1852  
 調査年月日 昭和 41年 10月 24日 ~ 10月 27日

標 高 \_\_\_\_\_  
 孔内水位 \_\_\_\_\_

標高 m	層厚 m	柱状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標準貫入試験					試料 採取 方法	試料 採取 深度 m			
								深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数					N 値		
									10	20	30	0	10	20	30	40	50
1			茶褐色	ローム	浮石、スコリア、火山灰 を含む。			1.154	1	1	2						
2	2.80	2.80						1.45									
3								2.154	2	1	1						
4								2.45	30	10	10						
5								3.154	1	2	2						
6			茶灰色	粘土質ローム	浮石多量に含む。			3.45	30	10	10						
7								4.158	2	3	3						
8	6.50	5.70						4.45	30	10	10						
9								5.157	2	2	3						
10								5.45	30	10	10						
11			黄灰色	凝灰質砂	前々凝灰質粘土状の 礫を含む。			6.158	2	3	3						
12								6.45	30	10	10						
13								7.1513	3	4	6						
14	14.50	6.00						7.45	30	10	10						
15								8.1516	4	5	7						
16								8.45	30	10	10						
17			茶灰色	シルト質砂	礫を含む。			9.1517	5	5	7						
18	18.00	3.50						9.45	30	10	10						
19								10.1519	5	7	7						
20	20.33	2.33						10.45	30	10	10						
			茶灰色	砂 岩	基岩多量に含む。 前々固結状している 所有り。			11.1521	7	7	7						
								11.45	30	10	10						
								12.1523	7	8	8						
								12.45	30	10	10						
								13.1527	8	9	10						
								13.45	30	10	10						
								14.1533	10	11	12						
								14.45	30	10	10						
								15.1543	14	15	14						
								15.45	30	10	10						
								16.1542	13	14	15						
								16.45	30	10	10						
								17.1545	14	15	16						
								17.45	30	10	10						
								18.1550	25	17	23	10	5				
								18.40									
								19.1550	22	24	16						
								19.37									
								20.1550	25	25							
								20.33	18	10	8						

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

$\frac{3.20}{45}$  3.20-3.70 は試料採取深度 (m)  
 $\frac{50}{3.70}$   $\frac{45}{50}$  は回収比 (50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)

3. 標準貫入試験の項で 10 cm 毎の打撃回数とは最初の 10 cm 貫入に要した打撃回数, 10cm-20cmの間で要した打撃回数, 20cm-30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

鶴川中学校敷地々質調査委託 地質柱状図 (NO. 3)

調査地点 町田市大蔵町1852  
 調査年月日 昭和41年10月28日～10月29日

標高 \_\_\_\_\_  
 孔内水位 \_\_\_\_\_

標高 m	層厚 m	柱状 図	色調	地質名	観察	相対 密度	相対 稠度	標準貫入試験					採取 方法	採取 深度 m						
								深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数					N 値					
									10	20	30	0	10	20	30	40	50			
1			茶褐色	ロ-△	溶石火山灰多量に 含む		柔らかい	1.15	3	1	1	1								
2							中位	1.45		30	10	10	10							
3								2.15	4	1	1	2								
4	4.30	4.30						2.47		32	10	10	12							
5								3.15	5	2	2	1								
6			黒灰色	粘土質ロ-△	上部固結している 所有り		至し	3.45		30	10	10	10							
7								4.15	6	2	2	2								
8								4.45		30	10	10	10							
9								5.15	8	4	4	5								
10	9.60	5.30						5.45		30	10	10	10							
11			茶灰色	凝灰質砂	溶石多量に含む		中位	6.15	8	2	3	3								
12								6.45		30	10	10	10							
13								7.15	7	2	2	3								
14								7.45		30	10	10	10							
15	15.45	5.85						8.15	8	2	2	4								
16								8.45		30	10	10	10							
17								9.15	12	3	4	5								
18								9.45		30	10	10	10							
19								10.15	22	7	7	8								
20								10.45		30	10	10	10							
								11.15	24	7	8	9								
								11.45		30	10	10	10							
								12.15	23	7	7	9								
								12.45		30	10	10	10							
								13.15	23	7	8	8								
								13.45		30	10	10	10							
								14.15	25	8	8	9								
								14.45		30	10	10	10							
								15.15	30	8	10	12								
								15.45		30	10	10	10							

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

$\frac{3.20}{45}$  3.20-3.70 は試料採取深度 (m)  
 $\frac{50}{3.70}$   $\frac{45}{50}$  は回収比 (50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)

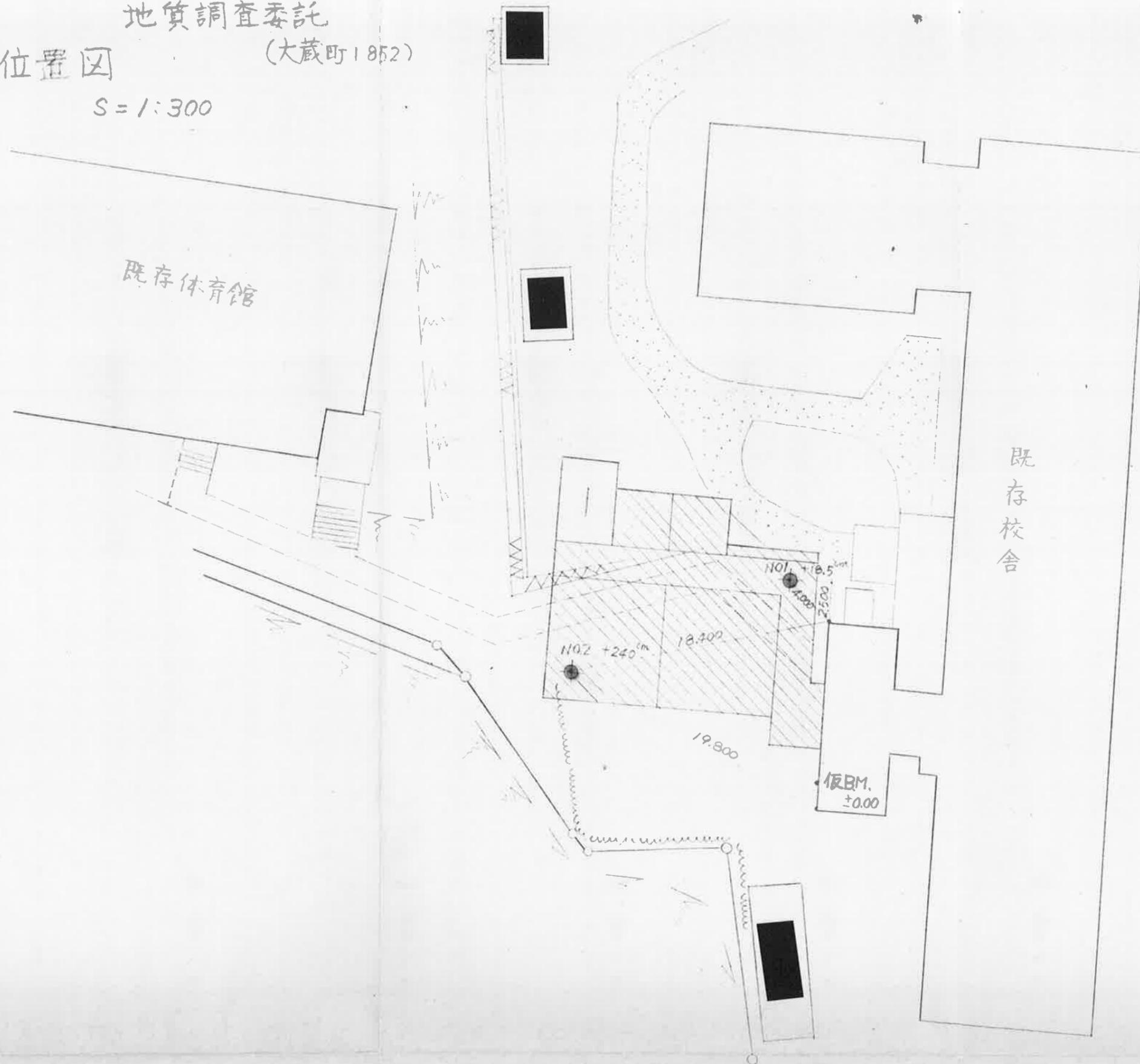
3. 標準貫入試験の項で 10 cm 毎の打撃回数とは最初の 10 cm 貫入に要した打撃回数, 10cm-20cmの間で要した打撃回数, 20cm-30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

町田市立鶴川中学校第二期増築工事に伴う  
地質調査委託

調査位置図

(大蔵町1852)

S = 1:300



仮BM. 仮比高  
NO.1 +18.5m  
⊕ ボーリング位置

# 土 質 柱 状 図

調査名 町田市立鶴川中学校2期増築工事に伴い地質調査

調査期間 昭和51年8月 日～昭和 年 月 日

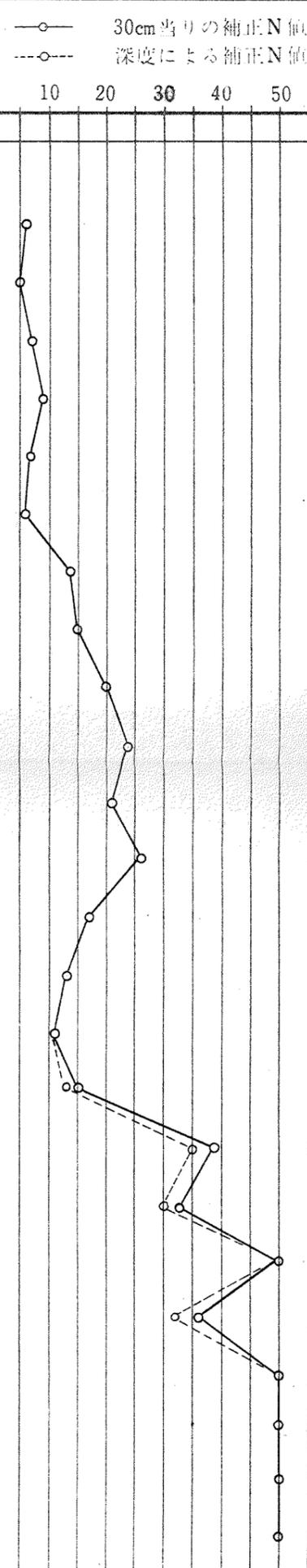
調査場所 町田市大蔵町1,852

ボーリング番号 NO.1

標高 0 M 185

地下水位 - 5.09 M

標尺 M	標高 M	深 度 M	層 厚 M	柱 状	色 調	地 質	記 事	試 料 No.M	標準貫入試験										
									深 度	N 値 同/cm	補 正 N 値	10	20	30	40	50			
0		0.47	0.47	X	暗 褐	表土(盛土)	採石礫を主とした盛土												
1				〰	暗 褐		色水中 処々: 凝固状を有する 所により礫φ8~10%前後 存在	1	1.15	6/30									
2		2.48	2.01	〰	暗 黄 褐	ロ - ム		2	1.45	5/32									
3				---			上部(2.48~2.70間) 固結 状		2.15										
4				---			如く樹植物根: 浮石存在 稍硬		2.47	7/30									
5		4.90	2.42	---	暗 灰	シルト		3	3.15										
6				△	暗 褐 灰		管水中 上部(4.90~5.70間) 粘性稍強		3.45	9/30									
7		6.60	1.70	△	乳 黄 褐	凝灰質粘土	5.70以下より砂混入する		4.15	7/30									
8				●	乳 黄		管水中 凝固シルト(砂混り) 及び中砂 互層状を有し		4.45	6/30									
9				●	黄 褐		所によりシルト 30~50% 扶 有		6.15	14/30									
10				●			全盤に雲母混入する		7.15	15/30									
11		11.70	5.10	●	暗 黄	シルト混り中砂		4	8.45	20/30									
12				●	黄 褐	砂混りシルト	管水中 凝固シルト及び中砂 処々 互層状に扶有		9.45	24/30									
13		12.60	0.90	●	乳 褐		所により固結状を有し 稍密		10.15	21/30									
14				●			管水中 全盤にゆるく 処々: 凝 固シルト互層状に扶有		10.45	17/30									
15				●			100~150mm 所により		11.15	13/30									
16				●	乳 黄 灰	シルト(砂)混り中砂	小礫φ10% 前後存在		12.15	11/30									
17		16.80	4.20	●				6	12.45	15/30	13								
18				●			管水中 全盤に半固結状を 有し 中砂互層状に扶有		13.15	13/30									
19				●	乳 黄 灰	シルト混り中砂	下部固結状を有する		13.45	11/30									
20		19.50	2.70	●				7	14.15	39/30	35								
21				●	黄 灰	中 砂			14.45	33/30	30								
22		20.80	1.30	●	乳 黄 灰		管水中 少量のシルト含有し 処々: 凝固シルト 30~50mm 互層状に扶有する 稍密		15.15	50/27	50								
23				●	乳 褐				15.45	36/30	32								
24		24.27	3.47	●	暗 灰	シルト混り中砂 (固結状)	20.80~21.70間 乳黄灰色 中砂半固結状を有する		16.15	50/26	51								
25				●	黄 灰		21.70~23.60間 乳褐~暗灰 ~黄灰 固結シルト 処々半固結 状の中砂 100mm 前後互層状 に扶有		16.45	50/15	89								
26				●			23.60以下 深黄灰 中砂全盤 に極密		17.15	50/10	132								
27				●					17.45	50/12	110								
28				●					18.15										
29				●					18.45										
30				●					19.15										
31				●					19.42										
32				●					20.15										
33				●					20.45										



# 土 質 柱 状 図

調査名 町田市立鶴川中学校水2期増築工事に伴う地質調査

調査期間 昭和51年8月 日 ~ 昭和 年 月 日

調査場所 町田市大蔵町1,852

ボーリング番号 NO 2

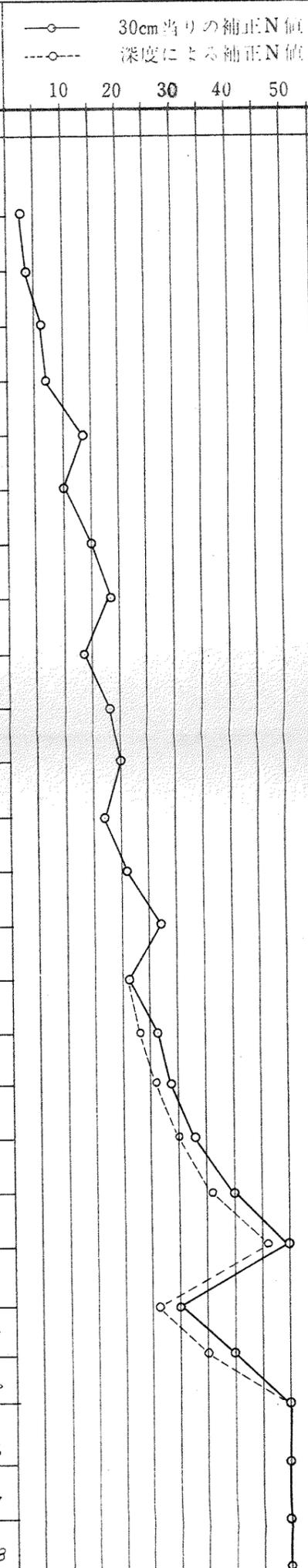
標高 2 M 40

地下水位 -7.34 M



標準貫入試験

標尺 M	標高 M	深 度 M	層 厚 M	柱 状	色 調	地 質	記 事	試 料 No.M	標準貫入試験									
									深 度	N 値 回/cm	補 正 N 値	10	20	30	40	50		
0				X	暗 褐	表土 埋戻土	玉石、木片、コンクリート片混在											
1		0.86	0.86		暗 褐				1.15	3/32								
2					暗 褐		管水中、細砂φ10~20% 存在。3.90以深、少量の 砂混入及び粘性質有す。		1.47	4/31								
3					暗 黄 褐				2.15	6/31								
4					暗 褐		下部稍礫多し		2.46	7/30								
5					暗 褐				3.15	10/30								
6		6.80	5.94		暗 褐	ロ - ム			3.46	15/30								
7		7.50	0.70		黄 褐 灰	砂混り粘土	管水中、砂混入、凝灰質粘 土。細砂凝塊状有す。		4.15	19/30								
8					乳 黄				4.45	14/30								
9					黄 褐		管水中、礫一様に混在し 細砂シルト		5.15	18/30								
10					暗 黄	シルト(砂)混り中砂	7.50 ~ 9.50 乳黄 9.50 ~ 10.80 黄褐 10.80 ~ 13.70 暗黄		5.45	20/30								
11					乳 黄				6.15	21/30								
12					黄 褐				6.45	17/30								
13					暗 黄				7.15	27/30								
14		13.70	6.20		乳 黄		管水中、細砂凝塊シルト 20~30mm 混在し、所により 礫φ10~20% 存在中。		7.45	21/30								
15					乳 黄 灰	中 砂			8.15	34/30								
16					乳 黄 灰				8.45	40/30								
17					乳 黄 灰		砂混りシルト(固結状)と 中砂互層状をなし、所によ り固結砂混有。		9.15	50/29	23							
18		18.40	4.70		乳 黄 灰	中 砂			9.45	30/26								
19					乳 黄 灰	シルト混り砂 (固結状)			10.15	34/30								
20		20.60	2.20		黄 灰	中 砂	管水中、少量のシルト混有し 所により、凝塊シルト 30~50 mm 混有。稍密。		10.45	50/36								
21					暗 黄				11.15	50/46								
22		22.50	1.90		茶 黄		管水中、細砂中砂固結状 を有す。		11.45	50/88								
23					黄 灰		24.70~25.42間 固結シルト 25.42~26.26間 中砂 全盤に極密である。		12.15	50/66								
24					黄 灰	シルト混り砂 (固結状)			12.45	50/77								
25		26.26	3.76						13.15	50/118								
26									13.45									
27									14.15									
28									14.45									
29									15.15									
30									15.45									
31									16.15									
									16.45									
									17.15									
									17.45									
									18.15									
									18.45									
									19.15									
									19.45									
									20.15									
									20.44									
									21.15									
									21.45									
									22.15									
									22.45									
									23.15									
									23.30									
									24.15									
									24.35									
									25.15									
									25.32									
									26.15									
									26.26									



# 調査位置平面図

S=1:500

